

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	自転車の安全と利用促進に関する事業			事業コード	2450
担当課等	所属名	建設部 交通政策課	担当係名		
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	建設部 交通政策課	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	自転車、歩行者のための交通環境の構築	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 9目 自転車の安全と利用促進事務(001-04)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 H20年度～)		
事務事業の概要	自転車利用促進を図るため、自転車走行環境の整備及び自転車通行マナーの啓発を行う					
根拠法令等	総合計画、盛岡市自転車条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成19年度に「盛岡市総合交通計画」を策定し、今後の交通のあり方を、マイカーの抑制と公共交通の利用促進に加え、鉄道や自転車の利用を促進していくこととした。また、自転車条例を定め、市民が誰でも気軽に利用できる交通手段として自転車を位置付け、利用促進を図ることとした。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民及び議会からは、自転車の安全と利用促進に関する具体的な施策の実施について要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
市民が自転車を気軽に利用しやすい環境が整うとともに、利用者のマナーの向上が図られる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	自転車利用者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 自転車防犯登録台数	単位	台
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 交差点部等の自転車走行空間整備手法に関する検討 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 交差点部等の自転車走行空間整備手法に関する検討	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. ブルーゾーンの整備延長	単位	km
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	自転車が利用しやすい環境を向上させる	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市内における違反無しの自転車事故件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	自転車の利用促進と歩行環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「自転車で快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%) 歩道設置延長(単位:km)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	自転車防犯登録台数	台	19000	17000	19000	未確定	19000		26年度 19000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	ブルーゾーンの整備延長	km	1.5	2	2	2	2		26年度 3
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	市内における違反無しの自転車事故件数	件	237	218	200	215	200		26年度 180
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	14,994	1,500	0	0	0		*****
財源 内訳	④国	千円	7,497	750	0	0	0		*****
	⑤県	千円			0	0	0		*****
	⑥地方債	千円			0	0	0		*****
	⑦一般財源	千円	7,497	750	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円			0	0	0		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	14,994	1,500	0	0	0		*****
	延べ業務時間数	時間	1,000	200	32	32	32		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,000	800	128	128	128	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,994	2,300	128	128	128	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 自転車の利用環境が整っていないのが現状であり、利用環境の向上が、利用促進及び歩行空間の向上に寄与する
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 自転車利用促進は、総合的交通施策に位置付けられており、また、CO2削減の観点からも公益性がある ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 事業の目的(自転車利用促進)と関連し、定量的に把握可能である ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 自転車の走行空間をはじめとする利用環境がほとんど整っていないのが現状であり、これを整備することが必要である ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 今後の自転車走行空間等の整備には、財源が必要である
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 総合的な交通施策の展開に支障が生じる
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費のほとんどが人件費である
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最小限の人員・業務時間で行っている
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 自転車利用環境向上のため、自転車走行空間の整備を、市道のみならず、国道及び県道においても同様に展開していく。 ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 道路管理者の区分によらず、統一した整備手法の確立が必要であり、有識者、市民団体、公安委員会、各道路管理者等で構成されている検討会において整備手法を確立する。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 関係機関・団体との連携を図りながら取り組んだ結果、他の道路管理者との連携を図りながら整備を実施できる可能性が生じてきているほか、他機関においても自転車の安全利用の啓発に対する新たな取り組みを行うなど、本事業の取り組み方法は評価できる。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止                 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> 方向付けの理由と改革改善の内容 改善方向に基づき、国道・県道についても展開を図りながら、ネットワーク化を目指す。		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			